

# あだたら

十月十九日(火)

十月山行、天栄村・二岐山

報告 編集部

第396号  
発行所 田舎の部  
山行部  
天栄村  
あだたら  
編集



13時7分、山頂発

朝七時、岳下向原のJ A 管農センターに集合、二本松ICから高速に乗る。須賀川ICで降りて、国道一八号を長沼方面に。実は〇〇会長が店長の店このあたりだと言う。この道、昔尾瀬に行くとき結構通って

が出てくる。実は二岐山のある天栄村、中通りと会津に跨っている。奥羽脊梁山脈の中の山なのだ。やがて山に入って、工事中のトンネル入口を過ぎて鳳坂峠を越えて、羽鳥湖畔を通る。湯本温泉に入るあたりで、正面に二岐山が大

●編集部連絡先  
二本松市野内1-5-15  
0243(22)4245  
Fax可 渡辺 正

きく見え出す。全員から大きな声が出る。二岐温泉方向に左折。二岐温泉一番奥の「吊り橋」を過ぎると、小森山登山口、ここからは、二岐山登山口まで行く道なのだが、極端に狭くなる。村道御鍋線と云うらしい。すれ違いできるような道ではない。御鍋神社の近くで、漸く川と山の間が広くなり、道幅も広がる。

広い駐車場があったので、そこに車を置いて。奥に「御鍋遊歩道入口」と言う看板があったが、車道に戻り、そこが会長の地図の見方の指導を受ける。一通り終えて、登山口を目指す。九時四十六分、登山口、車道の終点。一台の車があった。二岐山は「二階山」で、最初の急傾斜登って「ブナ平」の平地、そこから更に登って山頂だ。

すぐ急傾斜の道が始まる。十時三分八丁坂看板。この上で男女と若い男性一人の三人のグループに会う。埼玉県からの登山客だった。〇〇〇〇さんが話しかける。登山口にあった車の持ち主らしかった。十時十八分あすなる坂看板。やがて急坂は降り、平坦になる。このあたりから男岳が平坦

な所から急に盛り上がった形を大きく見せている。十時四十七分ブナ平看板。このブナ、とても背が高い。道は沢状になり水漬けた。二階山なので、ここから更に一登りしなければならぬ。やがて道は男岳に向かつて登り坂になる。十一時三十分男岳坂看板。ここから道は所謂「木の根坂」になり、岩も一杯出てくる。「ものすこしく急な登りだ、が、ゆっくりで良いから、休まずに登る」と言う事を実践する。案内書に「シャクナゲが現れたらやがて山頂」との記事があったが、シャクナゲが出てくる前に傾斜が緩くなり、山頂の感じが増えて来てから、シャクナゲが現れた。十二時十七分、山頂着。登山口からほぼ二時間半だった。



9時7分、地図の見方講習中

山逆も展望が良い。但し中通り側は厚い雲の下だ。山頂から奥に進むと、女岳が見える場所に出る。少し下がって又登る。その先、地獄坂と云うらしい。今日は行かない。戻ったら〇〇さんがコーヒ一沸かしてくれていた。有り



12時37分、山頂

奥に町並みが見える、会津田島だ。右手奥にアーチの橋がある町が見える。その上は小野岳なので、湯野上温泉だ。その右の大きな山は大戸岳だ。その右奥に風力発電所が一杯立っている山がある。会津若松の東側の山だ、名前が出てこなかった。〇〇〇〇さんに教えたから田島への途中には下郷の町も見えている。二岐

り難く頂く。女性からは、大きなブドウの実や漬け物頂いた。十三時三十分山頂出発。男岳坂看板十三時四十九分。ブナ平十四時九分、あすなる坂十四時三十分、登山口に下山十四時五十五分。御鍋神社入り口十五時四分、御鍋神社十五時八分、巨大なサワラの木が二本、拜殿の入口に門柱の様に構えている。拜殿の入口に巨大な銅が下向きに吊り下げられている。ここから遊歩道を駐車場に向かう。川に添った道だ。川は巨大な「滑滝」になっている。少し下では奥からの川と合流していて、広い滝壺がある。真夏で暑い日だったから、入りたくない場所だ。遊歩道にもそこへ下る道もある。そこから道は登りになった。意外と遠かったし、一同から不満の声が上がった。駐車場十五時三十分だった。



15時9分、御鍋神社

下山口でも、駐車場へ戻る途中でも〇〇会長は電話しっぱなし、その結果、二岐温泉も近くの温泉も、火曜日と言う事もあり営業して、立ち寄り客を受ける温泉は無かった。登り下りにちょっと時間掛かったし、温泉無し山行もたまには良い。帰りちょっと遠回りになったが、道の駅「羽鳥湖高原」でトイレ休憩、羽鳥湖に戻って、鳳坂峠を越えて中通りへ、須賀川ICから高速に入った。秋、夕暮れ早いし、厚い雲の下、すっかり暗くなってしまった。二本松ICで下りて、十七時五十四分、向原のJ A 管農センター到着、会計して解散。〇〇〇〇会長、往復の運動お疲れ様でした。▼山は「二岐山」川は「二俣川」、字が違う。▼歩いた歩数は一三、九四五歩、意外と少ない。十一日の麓山下登山道整備では一八、五一八歩だった。



十月十一日(月) 竈山下登山道整備二回目 報告 編集部



12時46分、休み場にて

十月十一日(月)、カレーで休日は平日という変な日。午前八時には

積み込み、ザックも重ねて置いて背負おうとしたが、右腕がどうしても背負いべ

るとき、まともな対応できない、おかしな気配感じたのか直ぐ切ってくれた。鳥

う。八之字の頭で□□さんは、車止めて、下って来たディレクターと話してい

最初の仕事は「采年直す」壊れた階段の「測定」、GPSでの位置確定と材料準備の寸法測定。まず荷

で昼食。ヘリで状況変わった。県消防防災ヘリ「ふくしま」が来た、事故発生だ。ヘリからのアナウンスが聞こえた「風強くて

い。ロケは市内でも行われていた。駅前の「□□□□」でもロケやったり、店に行ったら教えられた。何でも「東京のお店」の場面らしい。「□□□□」は以前にも映画で使われた。大きな空間が確保できるからだろ

の引っかかり見付けてくれた。荷物全部下ろして引っこかり直して積み直して、なんてやっていたら、□□さんと二人だけ取り残された。背負い直して出発。既に少し消耗していたので、□□さんにも話して、馬車道登った。途中で上から温泉会社の車下って来た。更に登って、二本目の近道の上で、温泉会社の車、こんどは登って来た。目の前で止まった。運転手は□□さん、乗せていってけるとい

う。八之字の頭で□□さんは、車止めて、下って来たディレクターと話していた。ディレクターは「私は下山家だから」と言っていて、近道下っていった。馬車道は温泉会社によって貰った、山の会は登山道やって、と役割分担だという話などしながら、車はものすごく揺れて馬車道の上で、馬車道には近道に入ったら□□さんにも話して、馬車道登った。途中で上から温泉会社の車下って来た。更に登って、二本目の近道の上で、温泉会社の車、こんどは登って来た。目の前で止まった。運転手は□□さん、乗せていってけるとい

「狐につままれた」顔で合流。□□さん、三十分ほどしてから□□さんと□□さんは「狐につままれた」顔で合流。□□さん達と合流。休み場

「狐につままれた」顔で合流。□□さん達と合流。休み場

い。ロケは市内でも行われていた。駅前の「□□□□」でもロケやったり、店に行ったら教えられた。何でも「東京のお店」の場面らしい。「□□□□」は以前にも映画で使われた。大きな空間が確保できるからだろ



高さは130センチ



道幅広げる刈払い作業

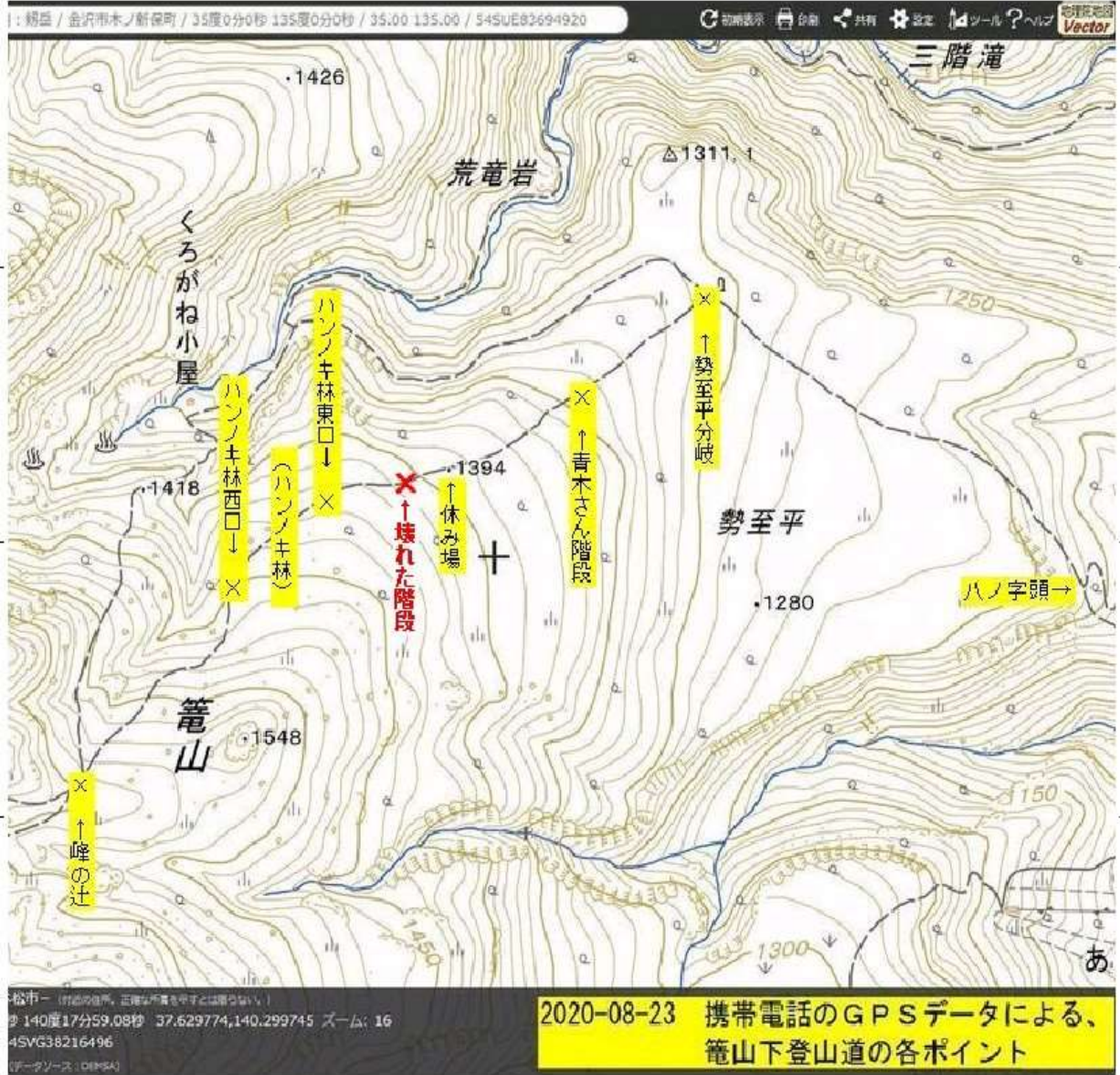


抉れ箇所に土嚢袋



ロープウェイ駅と救急車





向こう側が女岳



9時46分、登山道入口



二俣川の滑滝



10時47分、ブナ平、二階山の一段目

《10月19日、二岐山、写真帳》

◆登山道整備は、原則休日ですが、日数・人数が足りないかも知れません。十一月の平日に臨時の整備を行うことになると思います。例会通知などお知らせします。是非ご参加下さい。

◆個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

◆一日午後七時半過ぎ救助要請 三人出勤 午後九時半過ぎ無事救助して下山 現場は僧侶台登山道 詳細は例会で。

編集後記  
三九六号